

- ② 公共施設最適化の取り組み
- ③ 夏本番！熱中症対策を
- ④-⑤ **特集** 大雨シーズン到来
風水害に備えて
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

命を守る



かつては人や荷を運び、地域の発展の要となった相模川。今でも私たちの暮らしに強く根付き、夏になるとたくさんの方が水辺でのレジャーや釣りを楽しんでいます。

一方、親しみ深い川は時として、人の命を奪う恐ろしい顔を見せます。毎年夏になると川での水難事故が増え、2021年には厚木管内で16件の事故が起きました。

災害現場で活動するおよそ200人の隊員たちは、日々訓練を繰り返し、命を守るために24時間365日、切れ目なく出動の準備をしています。

安心して水辺に親しむために、正しく注意を払い、楽しい夏を過ごしましょう。

☎警防課 ☎223-09908

事故を防ぐポイント

- ① 子どもだけで遊ばない、遊ばせない
- ② 水辺にいる子どもから目を離さない
- ③ 泳ぐ力を過信せず、無理をしない
- ④ お酒を飲んだら、水に入らない
- ⑤ 溺れている人を見つけたら大声で付近の人に知らせ、すぐに119番通報
- ⑥ 応急手当の知識を身に付ける

市内などで活動する隊員たち

Zoom Up

持続的な行政サービスの提供に向けて

公共施設最適化の取り組み

市内には公民館や学校、市庁舎など、349の公共施設があります。多くは人口が急増した1970～80年代に建てられ、今後一斉に更新時期を迎えます。市では、費用を抑えながら、将来の人口減少などを見据えた適正規模での更新・配置を目指しています。

公共施設は、行政サービスの提供と市民活動に欠かせない存在です。一方で、老朽化に伴う維持・補修費の増加などの課題も抱えています。市では、現在の施設を適切に更新して次世代に引き継ぐため、2015年に公共施設最適化基本計画を策定。今年2月に内容の見直しと併せ、具体的な更新の方向性を示した個別施設計画を定めました。

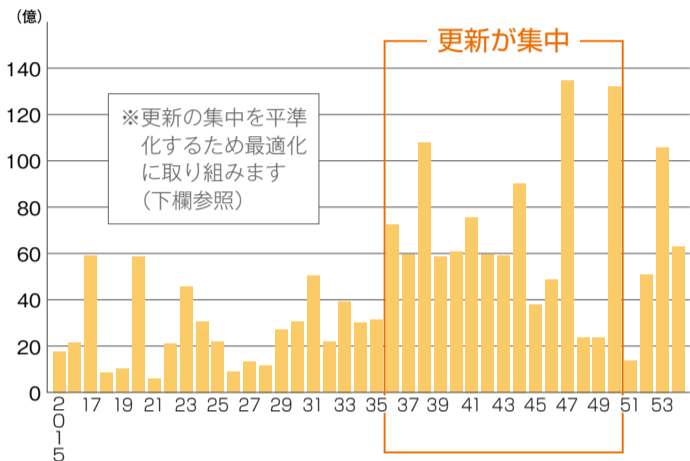
施設の複合・集約化などを推進

計画策定時の試算によると、54年ま



2017年に内装を改修し複合化した保健福祉センター

公共施設の更新・維持管理費用の見込み



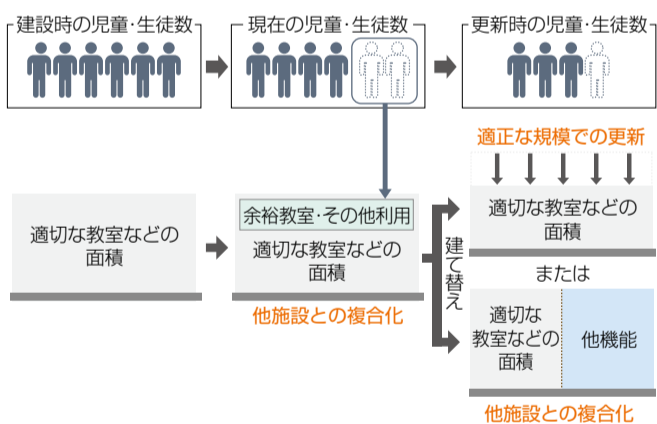
最適化に向けた取り組み

少子高齢化や人口減少などは、市の財政状況にも大きな影響を及ぼします。財源不足を解消するため、次の内容に取り組みます。

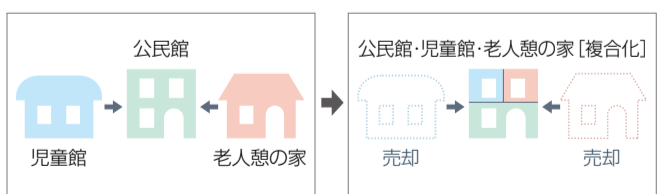
①適正な規模での更新・複合化

【更新・複合化のイメージ】

学校施設 児童・生徒数に合わせ、適正規模で更新。地域の核となる施設として他施設の機能を受け入れ。



公民館・児童館・老人憩の家 機能をまとめてサービス向上が見込める施設は、更新の段階で複合化などを実施。



- ②施設の統廃合
- ③国・県などとの連携
- ④市有地の売却や施設の廃止
- ⑤特定財源の確保
- ⑥民間への移譲
- ⑦民間活力の導入
- ⑧適正な受益者負担の導入
- ⑨長寿命化による更新時期の平準化

取り組みの詳細は市HPに掲載▶



基本計画



個別施設計画

でに必要な更新・維持管理費用は1849億円。充てられる市の財源は1427億円で、422億円が不足する見込みです。計画では、不足額を解消し持続的にサービスを提供するための取り組みを示しています。中心となるのが、施設の適正配置です。サービスの維持を前提に、長期的な視点で施設の複合化などを進めます(左欄参照)。

最適な施設で良質なサービスを
市はこれまで、計画に基づき保健センターと総合福祉センターの複合化、もみじ・厚木保育所の民営化などを実施。約22億円の費用削減につなげました。今後も、持続的に良質な行政サービスを提供できるよう、公共施設の最適化に取り組んでいきます。

☎行政経営課 ☎25-2099

インターネットで視聴・意見投稿を

市民参加型外部評価

外部評価は、市の事業を学識経験者や市民の皆さんなどが点検・評価する仕組みです。結果は事業の改善に生かしていきます。

☎行政経営課 ☎225-2160

日時(50分間)	対象事業	担当課
7月23日 13時～	14時～ 高年齢者継続雇用奨励補助金	産業振興課
	15時～ 親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金	住宅課
	15時～ スポーツ協会補助金・スポーツ推進事業補助金	スポーツ推進課
24日 13時～	14時～ コミュニティ保育推進事業補助金	保育課
	14時～ 情報プラザ維持管理事業	情報政策課
	15時～ 生きがいセンター維持管理・補修事業	介護福祉課

- ▶ **参加の手順**
- ①市HPにアクセス
「厚木市 外部評価」で検索、または下の二次元コードで市HPへ。
- ②動画を視聴
「外部評価を視聴する」をクリックし、視聴ページに移動。開始時間になると、動画が見られる。
- ③意見を投稿
放送中に①に戻り、「評価」項目の事業名をクリック。投票画面が開いたら意見を送信。





気温・湿度の高い日は十分な対策をして外出を

Zoom Up

暑い季節を楽しく安全に過ごすために 夏本番！熱中症対策を

これからの季節は気温・湿度が上昇し、熱中症のリスクが高まります。マスク着用時にはさらに危険性が高まるため、症状や対策を正しく理解し、しっかり予防しましょう。

事前の備えでリスクを軽減

熱中症は、体温の調整ができなくなり、目まいや吐き気、頭痛、失神などの症状が出て、最悪の場合は死に至る疾患です。昨年は、全国で約4万8000人が救急搬送され、80人が命を落としました。特に梅雨が明けると7月は、急に気温が上がり発症リスクが高まるため、十分な対策が必要です。

熱中症は、気温の上昇に体が順応できず、体温調節の機能が働かなくなることで起こります。屋外だけでなく室内でも多く起きており、注意が必要です。内科医の老山大輔医師は「水分不足に気付きにくい高齢者や、言葉でうまく伝えられない子どもは、特に発症のリスクが高い。家族など、周りの人のサポートが大切」と警鐘を鳴らします。熱中症を予防するためには、事前の備えと健康な体づくりが肝心です。日頃から汗をかく機会が少なくないと、暑い時に十分に発汗できず、体内に熱がこもりやすくなります。本格的な夏が来る前に、体操やウォーキングなどの適度な運動をしておく、予防につながる

外出する時は対策を

外出する時は、情報収集も欠かせません。熱中症の危険性が極めて高いと予想される日には、環境省が「熱中症警戒アラート」を発表します。アラートが出た日は不要不急の外出を控え、出かける予定がある場合は、可能な範囲で暑い時間を避けて早朝や夕方にするなどの工夫で危険を減らせます。

マスクは感染症を予防する効果がある一方、体内に熱がこもりやすくなります。湿度で喉の渇きを感じづらくなり、水分が不足しがちに。人との距離が確保できる場合や会話をほとんどしない場合などは、マスクを外すことも対策の一つです。

熱中症は、正しい対策で防げます。夏を楽しく過ごすために、しっかりと備えましょう。

健康長寿推進課 ☎25-2174

喉が渇く前に意識して水分補給を



おいやま
光ヶ丘医院 老山 大輔 院長(54)

感染症の影響で家で過ごす時間が長い生活から急に外出する機会が増えると、体が暑さに慣れておらず、熱中症を発症しやすくなるので、特に注意が必要です。予防のために最も重要なのは、小まめな水分補給です。喉が渇く前に、意識的に摂取するようにしましょう。激しい運動をする時は、市販の経口補水液やスポーツドリンクが摂取できるとより効果的です。

熱中症かも？と思ったら

- 建物内や日陰など涼しい場所に移動
- 衣服を緩める
- 水や濡れタオルで首や脇の下などを冷やす
- 水分・塩分補給

あつき 元気Wave
7/1~CATVで放送

症状が重い・改善されない場合は119番通報を

新型コロナウイルス感染症情報

ワクチン接種 4回目のお知らせ



4回目接種の接種券を順次送ります。接種券が届き次第、希望する方は予約をお願いします。

☎ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

■対象

- ①60歳以上 ②基礎疾患がある18~59歳
- ③感染症の重症化リスクが高いと医師が認めた18~59歳

■接種券の発送

- ①3回目接種から5カ月前後で送付（申請不要）
- ②③かかりつけ医と相談し、接種する場合は市HPや相談窓口 ☎225-2792から申請

■個別接種

- 《ワクチン》ファイザーまたはモデルナ
- 《場所》市内医療機関

■集団接種

- 《ワクチン》モデルナ
- 《場所》保健福祉センター（7月まで）
老人福祉センター寿荘（8月から）



4回目接種の
詳細はこちら

商店街でお得に買い物

商店街プレミアム 商品券を販売



厚木なかちょう大通り商店街振興組合と厚木一番街商店街振興組合で使える商品券6500円分を、5000円で販売します。

販売期間・場所

- 7月15~17日 10~14時 アミューあつき
- 7月15日~8月14日 10~14時 イオン厚木店

販売価格

- 1セット5000円
- ※6500円分の商品券（500円×13枚）
（共通券9枚、個店券4枚）

購入上限

1人10セット

販売数

3210セット

使用期限

9月4日まで

☎当日直接会場へ。先着順。



詳細はこちら

☎商業にぎわい課 ☎225-2840

市の防災対策

避難所の機能を強化▶

大規模災害時の拠点となる荻野運動公園に蓄電池を設置し、今年は太陽光発電設備を取り付けます。さらに浸水想定区域内にある避難所の被害把握・解消のため調査を進めています。
☎危機管理課☎225-2190



▶雨水貯留管で浸水対策

本厚木駅周辺の浸水被害軽減のため、中央公園地下を起点に工事を進めている雨水貯留管が来年完成します。あさひ公園地下雨水貯留施設と併せて、小学校のプール約54杯分の雨水をためられるようになります。☎下水道施設課☎225-2370



募集 企業などの浸水防止対策費用を補助

浸水被害を防ぐために対策工事などをする企業や管理組合などに費用の一部を補助します。
《対象物件》店舗、事務所、工場、集合住宅（マンション）、テナントビルなど
《補助額》対象経費の3分の1（上限3000万円）
《補助条件》災害時に避難施設として提供する協定の締結
☎市HPにある申請書を危機管理課☎225-2190へ。審査あり。

適切な情報収集を

防災行政無線で市からの緊急情報を発信します。内容は下記の方法でも確認できます。

市ホームページ

災害時は、市HPのトップ画面に災害情報を掲載します。

LINE 市公式アカウント

対話アプリ「LINE」のメッセージで情報を発信します。避難所の開設状況も確認できます。

《登録方法》

- ①「LINE」アプリをインストールし、ユーザー登録
- ② ID「@atsugi_city」で検索または二次元コードで厚木市のアカウントを友だち登録

防災行政無線メールマガジン

事前に登録したEメールアドレスに、防災行政無線の内容を送信します。遠方にもメールが届き、市内の状況が分かります。



登録はこちら

Check✓ 車中避難の場合

- 豪雨・強風の中での移動は危険。状況を確認して避難
- 浸水しないか周囲の状況を確認
- 水を飲む、体を動かすなどエコノミー症候群の対策を



車中避難のための
駐車場を開放

市では、避難所開設時に車中避難ができる駐車場を開放します（開放状況は市HPに掲載）。
●文化会館（200台）
●荻野運動公園（300台）

Check✓ 知人宅やホテルの場合

- 災害時にすぐ行ける距離にあるか
- 事前に避難する旨の了解を得る
- 避難時に必要な物品を用意
- ホテルなどは空室状況を事前に確認

分散避難

近くにある安全な親戚・知人宅、ホテルへの避難や、車中避難をする。

▼避難の判断は警戒レベルを確認

警戒レベル	避難情報など	取るべき行動
5	緊急安全確保	直ちに安全確保
警戒レベル4までに必ず避難		
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	避難に時間を要する人は避難
2	大雨・洪水注意報	避難行動を確認
1	早期注意情報	心構えを高める

安全に避難するには、警戒レベルや避難所の開設状況など正しい情報を得ることが大切です。情報を得る手段は複数用意しておきましょう。

tvkデータ放送

防災行政無線の内容をテレビで配信します。設定は不要。

《操作方法》

- ① テレビで「3チャンネル（テレビ神奈川）」を選択
- ② リモコンの「dボタン」を押す
- ③ 緑色のボタンを押し、厚木市のページを表示
- ④ 「防災・安全情報」を選び、決定ボタンを押す

防災ラジオ

普段はラジオとして使え、緊急時は防災行政無線の内容を優先して放送します。有償配布は市HPで確認。

- 一般のラジオでも、市からの緊急情報を放送します。
◆FMヨコハマ（84.7MHz） ◆FMカオン（84.2MHz）

テレホンサービス ☎0180-994422

防災行政無線の内容を電話で確認できます。通話料は有料。

洪水・土砂災害警戒情報プッシュ型配信

県が携帯電話事業者の緊急速報メールで配信します。事前登録は不要。

いざというとき、どう避難する？

風水害は、規模や時期が事前にある程度予測できる災害です。いざというときにどう避難すべきか確認しておきましょう。



まずはオールハザードマップを確認

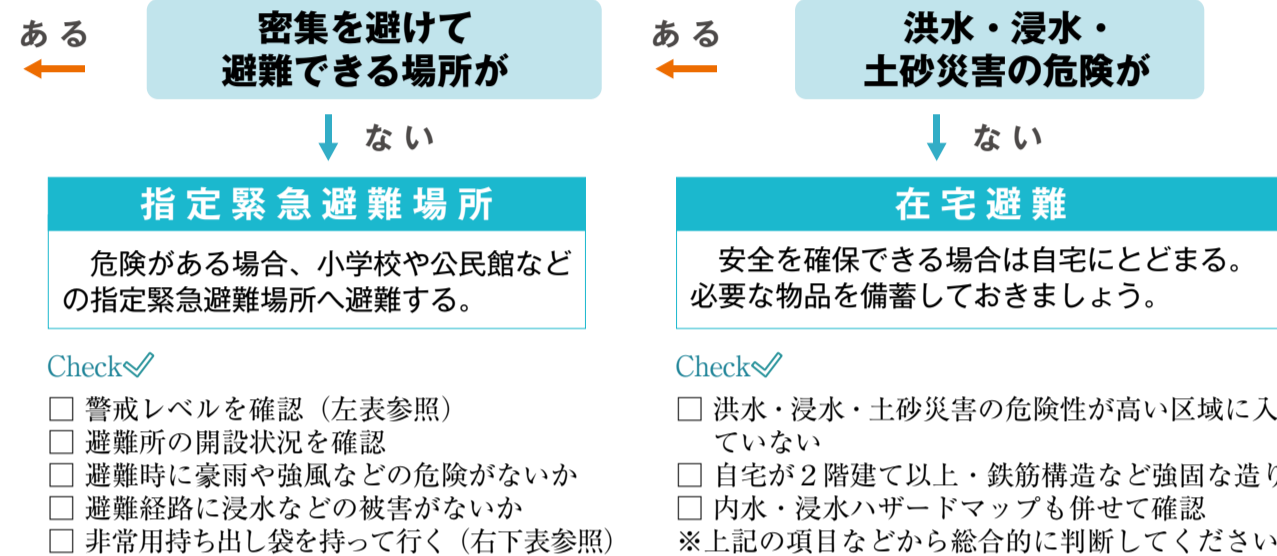
洪水・浸水、土砂災害、地震で想定される被害の危険性を地図で確認できます。今春に全戸配布しました。



市HPにも掲載

START

自宅は…



ある ← 密集を避けて避難できる場所がある

↓ ない
指定緊急避難場所
危険がある場合、小学校や公民館などの指定緊急避難場所へ避難する。

Check✓

- 警戒レベルを確認（左表参照）
- 避難所の開設状況を確認
- 避難時に豪雨や強風などの危険がないか
- 避難経路に浸水などの被害がないか
- 非常用持ち出し袋を持って行く（右下表参照）

ある ← 洪水・浸水・土砂災害の危険がある

↓ ない
在宅避難
安全を確保できる場合は自宅にとどまる。必要な物品を備蓄しておきましょう。

Check✓

- 洪水・浸水・土砂災害の危険性が高い区域に入っていない
- 自宅が2階建て以上・鉄筋構造など強固な造り
- 内水・浸水ハザードマップも併せて確認
※上記の項目などから総合的に判断してください

自宅でできる備え

日頃から災害発生時の行動を考えたり、家族で話し合ったりすることも減災につながります。備蓄品なども併せて確認しましょう。

■災害時の行動を確認

避難の必要があるかどうか、家族との連絡方法や集合場所、避難する場合は経路を確認しておきましょう。



マイタイムラインを作ろう

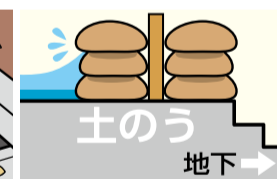
避難時の行動を時系列や役割別で記入でき、家庭ごとの災害時に取るべき行動がまとめられます。オールハザードマップに掲載。

■自宅や周囲の点検

窓・屋根の補強や、飛ばされやすい物がないか、雨どいや周囲の側溝に詰まりがないかなどもチェックしましょう。浸水が想定される場合は、土のうや水のう、被害を防ぐ止水板の設置も有効です。



排水ますの清掃



土のうや止水板を設置

■止水板の設置費用を補助

浸水被害を防止・軽減する止水板の設置費用などの一部を補助します。

《対象》住宅、集合住宅（マンション）、店舗、事務所などへの設置・購入費用
《補助額》対象経費の2分の1（上限50万円）
☎工事などの着手前に申請書と必要書類を下水道総務課☎225-2362へ。審査あり。条件などの詳細は市HPに掲載。

在宅避難に必要な備蓄品

◆飲料水・食料・生活用品

- 飲料水（1人1日3ℓ）
- 食料
- 卓上コンロ（ガスボンベや固形燃料）
- 食器・やかん・鍋など
- 缶切り
- 紙コップ・紙皿
- ナイフ
- 衣類・ハンカチ・タオル
- 毛布
- ティッシュペーパー
- 軍手
- トイレトペーパー
- 洗面用具
- 非常用給水袋
- ろうそく
- ライター・マッチ
- 携帯（簡易）トイレ
- ドライシャンプー

◆応急医療品

- ばんそうこう・ガーゼ・包帯・消毒液
- 風邪薬
- 解熱剤
- 胃腸薬
- 常備薬
- お薬ノート

◆あると便利な物

- 食品用ラップフィルム
- 電池
- アルミホイル
- 使い捨てカイロ
- 新聞紙
- ビニール袋
- のこぎり・ボールなど
- 安全ピン

わが家で必要な物は？

-
-
-

■非常用持ち出し袋や備蓄品を用意

非常用持ち出し袋の用意や食料などの備蓄をしておきましょう。必要な物や数は家庭によって異なるため事前の確認が必要です。賞味・使用期限など定期的に点検しましょう。

非常用持ち出し袋

◆貴重品

- 現金
- 身分証明書
- 印鑑
- 健康保険証
- 携帯電話
- 携帯電話
- 通帳・証券類

◆応急医療品、避難用具

- 救急用品（ばんそうこう、消毒液など）
- 懐中電灯
- ヘルメット（防災頭巾）
- 携帯ラジオ
- ステッキなどの探り棒
- 軍手
- スリッパ

◆感染症対策用品

- マスク
- ウエットティッシュ
- 手指消毒液
- 体温計

◆ペットがいる場合

- 飲料水・食料
- キャリーケース
- トイレシート

◆飲料・食料・生活用品

- 飲料水
- 非常食（缶詰めなど）
- 筆記用具
- タオル
- 生理用品
- 雨具
- モバイルバッテリー
- 毛布

◆乳児がいる場合

- 粉ミルク
- 哺乳瓶
- おむつ

◆高齢者がいる場合

- 介護用品
- 常備薬
- 流動食



わが家の防災

市民の皆さんの防災対策や備えていることを聞きました。

近所とのつながりの大切さ感じる

小野 勝春さん（88・旭町）



高齢になり不安もありましたが「心配事があつたら声を掛けてね」と言ってもらい、地域の皆さんとのつながりの大切さを感じています。

子どもの成長に合わせた備えを

牧田 大輔さん（36・愛甲）



子どもが生まれてから、災害への備えをより意識するようになりました。当時は赤ちゃんを避難所で過ごすことを考え、妻と相談して離乳食やおむつ、衣類などをそろえました。急いで避難する場合もあると思い、車にも非常食を用意しています。子どもの成長に合わせて、必要な備えは変わってくると思います。これからも定期的に見直していきたいです。

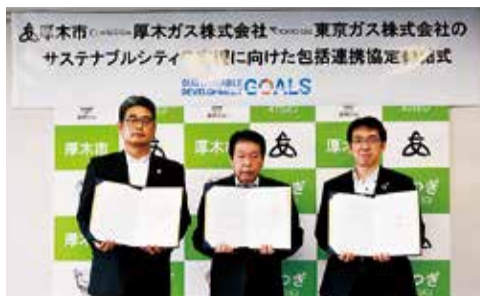
ハザードマップで危険性を実感

高澤 淳さん（28・金田）

ハザードマップを見て自宅付近の危険性が高いことを知り、備え始めました。食料品や水、電池、携帯トイレ、ランプ、カセットコンロなどを家族6人分備蓄したり、普段から避難経路を話し合ったりしています。消防団の活動で増水した川を目の当たりにし、災害はいつ自分に降りかかってもおかしくないのだと実感しました。これからも備えを続けていきたいです。



カーボンニュートラルの実現に向けて 持続可能なまちを目指し3者で協定を締結



地球環境を考えたまちづくりを進めていく

小林市長は「同じ目標や思いを持つ2者と連携ができてとても心強い。長い道のりだが目標達成に向けて協力していきたい」と話しました。市では他にも、再生可能エネルギーの普及促進やごみの減量・資源化など、地球温暖化防止の取り組みを進めています。

市は昨年2月、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。その実現に向け5月に、厚木ガス株式会社、東京ガス株式会社と3者で包括連携協定を結びました。

協定は、脱炭素社会に関する技術の活用や災害時の地域防災力の向上などにより、持続可能なまちの実現を目指す内容です。

太公望でにぎわう初夏の風物詩 相模川などでアユ釣りが解禁

初夏から秋にかけて川ににぎわいをもたらすアユ釣りが、相模川などで6月1日に解禁されました。この日を待ちわびていた太公望たちは、長い釣りざおを振りアユを釣り上げていました。



体長5~20センチほどのアユを釣り上げる太公望たち

相模川は、全国でも有数のアユ釣りの名所です。今年も例年よりも多い、約800万匹の遡上(せじょう)が確認されています。毎年解禁日に来ているという深瀬悦孝さん(68・戸室)は「解禁日はたくさんアユが釣れる。これから水温が高くなると、サイズが大きくなるので楽しみ」と笑顔で話しました。相模川水系のアユ釣りは10月14日まで楽しめます。



地元の野菜や果物を販売 森の里で朝市がスタート

買物に来た宮原征子さん(79・森の里)は「遠くまで外出するのが大変なので、地元で朝市が開催されるのがあるがたい。安心な地元産の野菜が買えてうれしい」と話しました。森の里朝市は11月下旬まで第2・4土曜日に開催されます。



愛称の「森もり市」は公募で決定

地域で生産した農産物などを販売する森の里朝市「森もり市」が5月、若宮公園西駐車場が始まりました。キャベツやタケノコ、タマネギ、青梅などの新鮮な野菜や果物、苗などが並び、約200人の来場者でにぎわいました。森もり市は、高齢化が進んだ地域での買物支援しようと地元の有志が企画。農業振興やコミュニティづくりによる地域活性化への願いも込められています。

学生の視点でまちに活気を にぎわいアドベンチャー隊の任命式を開催

市内5大学の学生が市街地の活性化に取り組む「あつぎにぎわいアドベンチャー隊」の任命式を開催し、小林市長が入隊する学生に任命書を手渡しました。あつぎにぎわいアドベンチャー隊は、商店会や自治会で組織する「まちなか活性化プロジェクト」が市街地のにぎわいを創出するために2008年に発足。昨年度は、商業施設と協力したハロウィーンやクリスマスイベントの開催、SNSを使った市内店舗・話題スポットの紹介などで市の魅力を発信しました。メンバーの中山陽平さん(東京工芸大学4年)は「今年は多くのイベントに参加して、仲間と協力しながら厚木のまちを盛り上げたい」と意気込みました。



今年は45人の学生が活動する



第9回 みんなで! SDGs

持続可能な社会を目指す世界共通の目標「SDGs」。その達成のために17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標6 安全な水とトイレを世界中に
世界では、数十億人が安全に管理された水やトイレを利用できていません。誰もが安全な水を利用できるように、限りある水資源を守りましょう。



できる取り組みは?



節水はCO2削減にもつながる

日頃から節水を心掛ける

日本は、世界の中でも水の使用量が多い国です。風呂の残り湯を洗濯に使う、シャワーの時間を減らす、小まめに蛇口を閉めるなど、節水を心掛けましょう。

川や海などの水資源を守るために

食器を洗う前に油汚れを拭き取る、野菜の切りくずを排水溝に流さないなど、家庭での取り組みが川や海の水質汚濁を防ぎます。限りある水資源を守るためには、一人一人の意識が大切です。

企画政策課 ☎225-2450

県と周辺5市町村合同の水防演習を、5月に相模川の三川合流点で実施しました。川の氾濫を想定した演習には700人が参加。消防士や消防団員らが訓練を披露し、水防への理解を呼び掛けました。

相模川といえば、3年前の台風を思い出します。惨事は免れましたが、報道で目にした痛ましい光景が身近でも起こり得ると実感しました。氾濫対策は、一級河川を管理する



黒岩祐治知事らと演習を視察

を施す事業所などへの補助金を新設。雨水対策として市街地周辺へ貯留管を整備する他、止水板を設置する個人などへの補助金も設けました。

夏は川のレジャーが盛んな季節です。一方で、台風や豪雨による水害のリスクは高まります。災害から命や財産を守るため、皆さんもハザードマップの確認や危険時の早期避難など、水に関する災害への意識をぜひ高めてください。

県に河床整理や樹林化対策を要請していただきます。市で管理する準用河川・恩曾川では同様の対策に加え、氾濫危険・避難判断の水位を設定。流域の皆さんが、身の安全を判断できる環境づくりに着手しています。浸水対策も強化し、対策工事も

タウンガイド

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ☎=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📍=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「水田が映す景色」

#6月3日撮影
 #田植え
 #圏央道
 #niceatsugi
 広報課公式インスタグラムで公開中



新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)

感染の不安がある方、健康・医療の相談、診療ができる医療機関の案内など

☎0570-056-774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

斎場施設見学会

7月19日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☎7月1～18日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

小学生水泳教室

8月3～5日、10～11時。市営水泳プール。初級の水泳教室。小学生各回20人。☎7月1日から直接、電話またはスポーツ推進課や市HPにある申込書をファクス、Eメールで、スポーツ推進課☎225-2530・☎223-0044・✉8850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順。

神奈川工科大学 厚木市子ども科学館の催し

字幕付きプラネタリウム「見えない宇宙に挑む」

7月16日、13時30分～14時15分。日本語字幕とナレーション付きの番組。定員90人。200円(中学生

以下50円)。☎当日9時から観覧券を販売。

■おもしろ実験「葉っぱのたたき染め」

7月17日、①11時～②13時30分～(各回45分)。さまざまな形や色の葉で布を染める。小学生以上10人(付き添いの方も要予約)。無料。☎当日9時から電話で受け付け。

■昼寝タリウム

木曜(夏休み期間は除く)、12時15分～12時45分。満天の星の下、ゆったりと過ごす。定員90人。200円(中学生以下50円)。☎当日9時から観覧券を販売。

いずれも先着順。会場、問い合わせは子ども科学館☎221-4152。

早ね・早おき・朝ごはん

夏休みに入ると、つい夜更かしをしがちです。規則正しい生活を心掛けましょう。早ね=成長ホルモンは、寝ている間につくられま



相模ささら踊り大会

ささら踊りは竹で作った「ささら」を持ち、太鼓と唄に合わせて踊る、無形民俗文化財です。歴史ある伝統の踊りを見てみませんか。

☎文化財保護課☎225-2509

《日時》7月27日 13時30分～

《費用》無料

《場所》荻野運動公園

☎当日直接会場へ。室内履きをお持ちください。

《出演》愛甲・長谷ささら踊り盆唄保存会、相模国飯山白龍太鼓保存会他

ホット インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集
 厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

6月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆次世代のために環境を守ることが私たちの使命だと思った/60代女性 ◆子育て期は少しの外出も大変なので出張相談は助かる/30代女性 ◆関心の高いワクチン接種情報が具体的でよく分かった/70代以上男性 ◆カーボンニュートラル実現には一人一人が行動に移す必要があるが、まずは自分にできることを実行していきたい/60代男性 ◆市民の方がリポーターなので意見が身近に感じる/40代女性

“食”の知識を地域へ あつぎ食育アドバイザー養成講座



食の豊富な知識を身に付け、地域で食生活改善や食育を推進するボランティアを養成する講座を開催します。

☎健康づくり課☎225-2201

日程 ①9月1日～10月26日

費用 各500円(テキスト代)

②11月2日～12月21日(各全9回)

対象 食のボランティアとして活動する意欲がある市内在住の20歳以上各12人(②は託児あり。1歳～小学3年生5人。要予約。抽選)

☎健康づくり課や市HPにある申込書を、直接または郵送で8月5日(必着)までに〒243-0018中町1-4-1健康づくり課へ。抽選。📍

場所 あつぎ市民交流プラザ

す。強い体にするには早寝が大切です。早おき=太陽光には、脳を覚醒させる効果があります。早起きをして太陽の光を浴びましょう。朝ごはん=人は寝ている間にもエネルギーを使います。しっかり朝ご飯を食べましょう。☎社会教育課☎225-2513。

後期高齢者医療制度の保険料率などを改定

高齢化による被保険者数や医療給付費の増加を見込み、2022～23年度の保険料率が改定されました。対象者には7月中旬に納入通知を送付します。

《均等割額》4万3100円《所得割率》8.78%《上限額》年額66万円。☎国保年金課☎225-2223。

介護保険負担割合証の更新

要介護・支援認定を受けている方や総合事業の対象者に、介護保険負担割合証を7月中旬に送付します。新たに申請した方には、結果通知と併せて送付します。

《適用期間》8月1日～(1年間)。☎介護福祉課☎225-2393。

後期高齢者医療制度の保険証を更新

7月中に後期高齢者医療制度加入者へ新しい保険証(制度改正に伴い、有効期限は8月1日～9月30日)を送付します。10月1日から使える保険証は9月中に改めて送付。☎国保年金課☎225-2223。

住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響などで経済的に厳しい世帯に、給付金を支給します。

《対象》①6月1日時点で世帯全員の2022年度住民税均等割が非課

税の世帯②感染症の影響で22年1月以降の収入が住民税非課税相当となった世帯(いずれも課税されている方の扶養親族、すでに臨時特別給付金を受給した世帯を除く)《支給額》1世帯10万円。☎①7月11日に発送する確認書②市HPにある申請書、必要書類を、郵送で10月11日(必着)までに〒243-8511生活福祉課臨時特別給付金担当☎225-2384へ。詳しくは市HPに掲載。

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響で経済的な負担が増えている低所得の子育て世帯に、給付金を支給します。

■一人親世帯

《対象》①2022年4月分の児童扶養手当を受給②公的年金などの受給により、22年4月分の児童扶養手当を受給していない③感染症の影響で家計が急変し、収入が児童扶養手当の対象となる水準に下がった一のいずれかに該当する方。

◆その他の世帯

《対象》①22年3月31日時点で18歳未満の子ども(特別児童扶養手当の対象となる場合は20歳未満)を養育する父母など(22年4月～23年2月に生まれた子どもも対象)②22年度住民税均等割が非課税または22年1月以降の収入が、住民税非課税相当となった一の全てを満たす方。

いずれも支給額は子ども1人5万円。☎①と、◆は対象の子どもの児童手当または特別児童扶養手当を受給する22年度住民税非課税の方は申請不要。それ以外の方は市HPにある申請書と必要書類を、直接または郵送で23年2月28日(必着)までに〒243-8511子育て給付課☎225-2118へ。詳しくは市HPに掲載。

編集後記

市内で約5千人が避難した2019年の台風19号発生時、市役所で問い合わせの電話を受けていました。「逃げた方がいいのか」「うちはどれくらいの被害が」「どこへ避難すれば」などの不安の声は、川の水位が上がるにつれて増え、夜明けまで続きました。災害が起きてから冷静に考えるのは難しいものです。減らせる不安があるのなら備えておいて損はないと、日頃の備えを見直すきっかけになりました。前場

3年ぶりの大花火大会

第76回

あつぎ鮎まつり

厚木の夏の風物詩「あつぎ鮎まつり」が帰ってきます。
感染症対策をしながら楽しみましょう。

☎観光振興課 ☎225-2820

※感染症拡大などの状況によっては中止となる場合があります。

8月6・7日



詳しくはこちら

大花火大会

3年ぶりに開催する迫力ある花火を楽しみませんか。

日時 8月6日 19時～

場所 相模川三川合流点

あつぎ 元気Wave
7/1～CATVで放送

有料観覧席を販売

7月1日10時からセブンイレブンで販売。席の種類や金額などは市観光協会HPに掲載します。

小学生鮎つかみどり 申し込み制

厚木の名産・アユを捕まえ、夏の思い出をつくりませんか。

日時 8月7日 10時30分～11時10分

場所 相模川三川合流点

定員 小学生500人

費用 無料

市HPまたは往復ハガキに参加者氏名、〒住所、学年、保護者氏名、電話番号を書き、7月15日(必着)までに〒243-8511商業にぎわい課 ☎225-2840へ。抽選。



詳しくはこちら



「みんなの花火」の募金を受け付け

募金は花火大会のフィナーレを飾るスターマインの費用に充てられます。皆さんで盛大な花火を打ち上げませんか。

■1万円以上

《場所》観光振興課、厚木商工会議所、市観光協会

●1万円未満

《場所》■に加え、公民館、本厚木駅・東丹沢七沢観光案内所、市内郵便局

《期間》いずれも7月1～31日

自然歳時記

●チョウトンボ●
トンボ科

湿地や池などに生息する。市レッドデータブックで絶滅危惧種に選定され、まれに見掛ける。名の由来はチョウのようにひらひら飛ぶことから。体長40㎖前後/自然が残る谷戸で見つけた。写真・文/吉田文雄



風に吹かれて、どこからともなく濃い藍色のチョウが飛んで来た。全体は濃紺で前羽の先端部は透明、後羽は幅広く羽の付け根が透明のチョウトンボだ。光が当たると青紫色に輝き、その美しさに夏の暑さを忘れて見とれてしまう。子どもたちにもぜひ見せてあげたいものだ。

十数年前は市内各所の湿地でもよく見られたが今は少ない。生息環境の悪化や開発行為、外来種のザリガニの影響、農薬汚染、むやみな採集などのさまざまな原因がある。

そんなことを考えていたら、急に大空へ舞い上がって行った。真昼の夢のようで辺りは静かになった。

厚木市の人口
(6月1日現在)

世帯数 10万2941世帯(前月比308世帯増)



人口 22万3991人(前月比197人増) 男11万5302人・女10万8689人